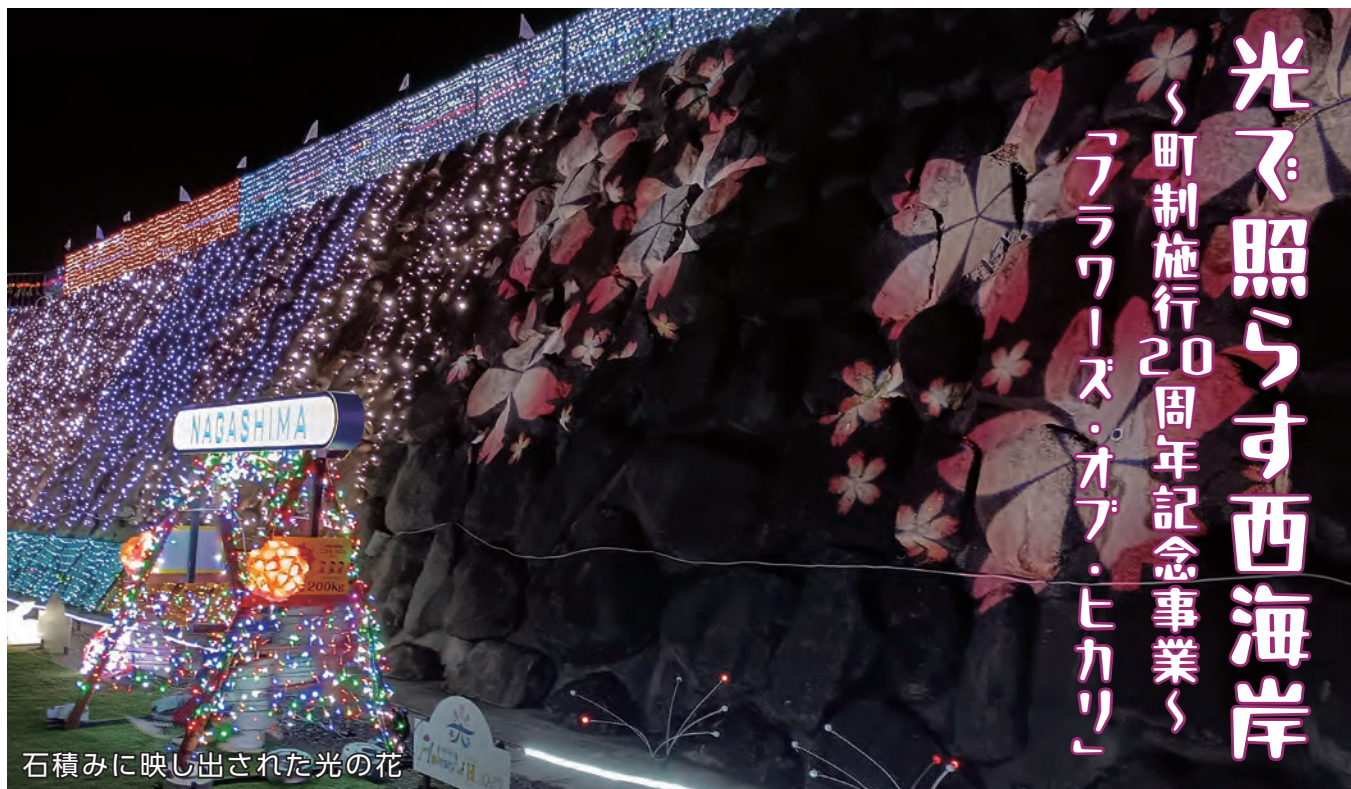




石積みに映し出された光の花

光で照らす西海岸 町制施行20周年記念事業 「フラワーズ・オブ・ヒカリ」



点灯開始



会場には多くの来場者



点灯後の打上げ花火

10月31日から11月30日まで、サンセットの丘（指江）で、「Flowers of HIKARI」（フラワーズ・オブ・ヒカリ）を開催しています。

今回のイルミネーションは、町制施行20周年記念事業の一環として行われ、20周年のフォトスポットを設置したほか、プロジェクターを使用して光の花を石積みに映し出すことで、花と石積みの町を表現しています。

31日に行った点灯式のカウントダウンでは、川添健町長が「長島町は合併後20年が経過し、皆さんのおかげで第一次産業が大いに発展した。イルミネーションで感謝と癒しを届けたい。3月まで、多くの町制施行20周年のイベントを企画しているので今後も楽しんでほしい」とあいさつしました。

会場には、イルミネーションのほか、子ども向けに光るシーソーや光で包まれたブランコ、石積みに張られたタッチライトを設置。町自慢の大きな石積みの壁とイルミネーションのコントラストが来場者の目を楽しませていました。

点灯式後は、大きな花火が打ち上げられ、晩秋の長島の夜を彩りました。



光に包まれたブランコ



十人十色の音色を奏でるパネル



フォトスポットで記念撮影